

25. 地域医療福祉の推進

(1) 地域連携クリティカルパス推進事業

医療機関から在宅へ安心して戻る切れ目のない医療を提供し、医療機関の機能分担と連携を図るツールとして、湖東医療圏の実態に即した適切な地域連携クリティカルパスのあり方を検討し具現化することを目的に実施した。地域連携クリティカルパスとは、急性期から回復期、維持期に至る医療連携クリティカルパスに保健・福祉サービスを含め、関係者と利用者が共同して作成するケア計画とする。

- ・経過 当圏域では、「脳卒中地域連携クリティカルパス」の開発検討を、平成19年度から行い、平成22年6月から平成23年8月に試行運用を経て、平成23年10月から「脳卒中湖東地域連携クリティカルパス」運用を開始し、平成24年度は定着に努めた。平成25年5月には、県下統一パス様式「滋賀県脳卒中地域連携パス」が作成されたことを受け、様式変更について検討を重ね、平成25年11月より県下統一パスに様式を改め運用を開始した。

①湖東地域脳卒中地域連携検討会

- ・目的 脳卒中患者が住み慣れた地域で安心して医療や介護・福祉が受けられるよう、治療やリハビリテーション、看護・介護などに関わる機関が効果的・効率的な連携を行い、安心して転院や在宅復帰につながるよう関係者のネットワークの構築を図るとともに、切れ目のない支援体制の充実に向けて検討する。
- ・開催日 ①ワーキング部会(第1回) 令和4年7月29日(金) 16:00～17:00
②ワーキング部会(第2回) 令和4年12月2日(金) 16:00～17:00
③検討会 新型コロナウイルス感染症対応のため、書面開催(令和5年3月)
- ・場所 ①② ZOOMを使用したWEB開催
- ・検討メンバー 医療機関(脳外科医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士)、老人保健施設、訪問看護ステーション、彦根愛知犬上介護保険事業者協議会、彦根愛知犬上介護支援専門員連絡協議会、地域包括支援センター、湖東地域リハビリ推進センター、県立リハビリテーションセンター、湖東健康福祉事務所
- ・検討内容
 - ・地域連携クリティカルパス運用状況と連携上の課題について
 - ・急性期－回復期－維持期(在宅)の連携について
 - ・脳卒中地域連携クリティカルパスを使った患者評価、支援者評価について
 - ・効果的な住民啓発と再発予防支援 等

(2) 入退院支援ルール評価・検討事業

- ・目的及び経過
在宅医療や介護が必要な住民が、退院後も機能を維持向上し、安心して過ごせるよう、在宅療養環境を早期に整備する体制が必要である。そこで、病院(看護部)と介護支援専門員が入退院支援にかかる協議検討を行い、病院での治療から在宅療養へのスムーズな連携を図ることを目指し、入退院支援ルールを策定することを通して、病院とケアマネジャーの連携を強化することを目的とする。
当圏域では、平成27年度より病院(看護部)と在宅(ケアマネジャー)が入退院支援の現状の意見交換を行う中で、「病院とケアマネジャーの入退院支援のための手引き」を策定し、平成28年度より運用を開始している。

① 湖東地域入退院支援ルール評価・検討事業合同会議(コア会議)

- ・目的
「湖東圏域における病院とケアマネジャーの入退院支援のための手引き」を活用した地域連携の円滑な推進を図るため、運用上の課題を明らかにし、課題解決に向けて関係者間の共通認識の形成と役割分担の明確化に向け検討する。
- ・開催日
令和5年3月3日(金)13:30~15:00
- ・場所
ZOOMによるWEB会議
- ・検討メンバー
管内4病院(医療連携室等看護師、社会福祉士)、彦根愛知犬上介護保険事業者協議会、彦根愛知犬上介護支援専門員連絡協議会、居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護事業所、地域包括支援センター、滋賀県病院協会、湖東健康福祉事務所
- ・検討内容
・入退院支援ルールの評価検討事業について
・医療と介護の連携に関するアンケート結果について
・退院後情報提供書運用、実施状況について

② 湖東地域入退院支援ルール評価・検討事業合同会議(拡大会議)

新型コロナウイルス感染症の対応のため未実施

③ 医療と介護の連携に関するアンケート調査

- ・調査目的
「病院とケアマネジャーの入退院支援のための手引き」運用後の病院とケアマネジャーの連携状況を把握するために実施(全県統一調査項目、圏域調査項目)。
- ・調査時期
令和4年7月
- ・調査対象
居宅支援事業所および小規模多機能事業所、地域包括支援センターに所属する全ての介護支援専門員
- ・調査内容
(1) 令和元年6月の担当ケース数と6月中に入退院したケースの状況
(2) 担当ケースが入退院した際の病院と介護支援専門員の情報共有の状況
(3) 病院と介護支援専門員との連携における課題
(4) 入退院支援ルールの運用状況
(5) 退院後情報提供書提出状況 等

(3) 地域リハビリテーション提供体制整備推進事業

- ・目的 リハビリ専門職と地域の課題に取り組むために、リハビリ専門職の活動状況を把握するとともに、地域との連携における課題を明らかにし、どのような協力体制があれば地域リハビリテーションの推進につながるのか検討する
- ・開催日 湖東地域リハビリテーション推進センター事務局会議への参加
令和4年4月26日、6月23日、8月25日、10月28日、12月22日、令和5年3月9日
- ・場 所 くすのきセンター(彦根市保健・医療複合施設)
- ・検討内容 地域リハビリテーションの推進に関すること
- ・参加者 湖東リハビリテーション推進センター担当、県立リハビリテーションセンター担当、湖東健康福祉事務所

(4) 湖東圏域地域包括ケア等担当者会議

- ・目的 管内の市町が、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるための地域包括ケアシステムの構築を推進していけるよう、市町の取り組みの情報交換や課題の共有、広域的に取り組むべきことの検討等を行う。
- ・開催日 原則、月1回 第3金曜日 9:30~11:00
令和4年5月20日、6月17日、7月15日、10月21日、11月18日、令和6年2月7日
(令和4年8月19日、9月16日、12月16日、令和5年2月17日は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止)
- ・場 所 くすのきセンター(彦根市保健・医療複合施設)
- ・検討内容 医療と福祉の連携推進に関すること
介護予防に関すること
地域リハビリテーションの推進に関すること
その他、地域包括ケアシステムの構築に関すること
- ・参加者 市町および湖東健康福祉事務所担当、議題により、湖東リハビリテーション推進センター担当、在宅医療福祉職応援事業委託事業者担当、彦根市地域包括支援センター担当 等

(5) ことう地域チームケア研究会

- 湖東地域の住民が、どんな状態でも自分らしく、いきいきと暮らせるしくみづくりのために、関係者がお互いの不安や不便を分かち合ったり、関係職種への理解を深め、チームづくりを進めること等を目的に、顔の見える場から手をつなぎ合える関係を目指して開催している。当所は、世話人として協力している。
- ・目的
 - ・場所 Zoomを使用したWEB配信とくすのきセンター3階会議室1
 - ・検討内容 話題提供、参加者による意見交換および結果発表、自己紹介タイム
 - ・話題提供のテーマと担当団体 * 研究会終了後、世話人会開催

開催日 (18:30~20:30)	テーマ等	担当団体	参加者
令和4年 5月12日(木)	Withコロナ社会での多職種連携 ~「めざす姿」の実現に向けて~	彦根愛知犬上介護保険事業者協議会・訪問看護ステーション連絡協議会	91
7月14日(木)	オーラルフレイル	彦根歯科医師会・滋賀県歯科衛生士会	54
9月8日(木)	お薬の話	彦根薬剤師会	62
11月10日(木)	緩和ケア	彦根医師会・湖東圏域4病院相談支援部門・湖東食と栄養を考える会	75
令和5年 1月19日(木)	ACP・意思決定支援	湖東健康福祉事務所	63
3月9日(木)	事例検討会	彦根愛知犬上介護支援専門員連絡協議会・市町地域包括支援センター	53

- ・事務局 彦根愛知犬上介護保険事業者協議会(在宅医療福祉職応援事業)、彦根市医療福祉推進課

(6) 圏域在宅医療福祉推進事業

湖東地域人生の最終段階における医療・ケアの普及啓発プロジェクト会議

- 湖東地域において、地域住民が可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう自分の医療やケアの受け方について考え、周囲とともに話しそれを表示できるための、まずは医療介護関係者がACP(アドバンスケアプランニング)を理解し実践できるようにプロジェクト会議を立ち上げ人材育成に関する取り組みについて検討する。
- ・目的
 - ・開催日 ①令和4年11月15日(火) 15:00~16:30
②令和4年12月15日(木) 15:00~16:30
 - ・場所 彦根保健所 2階会議室 (ZOOMによるWEB会議併用)
 - ・検討メンバー 管内4病院、訪問看護ステーション、彦根愛知犬上介護支援専門員連絡協議会、地域包括支援センター、彦根愛知犬上介護保険事業者協議会、湖東健康福祉事務所
 - ・検討内容
 - ・ACP実践シートの活用状況について
 - ・第59回ことうチームケア研究会について
 - ・次年度の取り組みについて